



8月の園だより

令和8年8月1日

目黒区立田道保育園園長

暑さも夏本番となり、セミの鳴き声も聞こえ始めました。5歳児クラス前のテラスでは、ヒマワリの茎がぐんぐん伸びてきています。「ほら、ぼくより大きくなったんだよ」と、水やりをしながら自分の背丈と比べて嬉しそうに知らせてくれます。少し顔を覗かせているつぼみも見られ、お日様の光をたくさん浴びながら一人にひとつ2本のヒマワリに囲まれるテラスになるまであともうひと息です。

先月から、水遊びやプール活動が始まりました。各クラス、ドキュメンテーション等でもお伝えしていますが、水の感触を全身で味わっている様子が日々の遊びから伝わります。先日、ジョーロから流れる水の行方に興味を持った2歳児の子が、滴るしぶきをじっと目で追いつけ、しばらくすると片方の手で水のしずくをそっと受け止めていました。水に触れ、冷たさや不思議さ、面白さなどきっと何かを感じていたのでしょう。満足するまで遊びこめる環境や、夢中になって繰り返すことで新たな発見や喜びにつながる経験を楽しめるよう関わっていききたいと思います。また今年度もプール活動では、“ヒーロープール”として週に数回近隣の私立園も利用しています。「わぁ区民センターのプールみたいで大きいね」「めっちゃ泳げるね、やったぁ」と口々にプールを見て嬉しそうな声をあげています。「すごい楽しかったよ、また来てもいいですか」と、帰る時の満足そうな表情を見ると、各園どの子も夏の遊びを楽しめていることを嬉しく感じます。夏ならではの遊びを通して、心も体も開放的な楽しさを存分に味わえるよう安全に配慮しながら過ごしていきます。

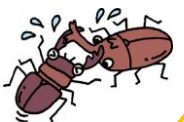
🍉 今月の予定 🍉

プール終い / 中旬…身体測定・避難訓練

🌻 異年齢の関わり 🌻 ～幼児クラス～

先月、なつまつりを行いました。なつまつりの出店はボール転がし、ヨーヨー釣り、わにわにパニック、輪投げ、お絵かきなど楽しいお店がたくさんありました。5歳児クラスくじら組から「ぼくたちもお店の人やりたい」と声があがり、お店のお手伝いをしてくれました。「小さい子はボールが届かないから、もっと近くからできるようにしよう」と子ども同士でどうしたらお客さんが楽しくゲームができるか考えを出し合っている姿があります。当日、夏祭りが始まると3歳児クラスペンぎん組の子が緊張しながらボール転がしのお店にやってきました。「いらっしゃい」「このボールをころがすんだよ」とお兄さんの優しい声と態度にほっとした笑顔を見せています。上手いかななくても「次もできるよ」「うまいね」と励ましの声がかかります。ボールがゴールに入ると「やったー」「入ったー」とお店の人もお客さんと一緒に喜びを分かち合っていました。また輪投げではお店の子が膝立ちでお客さんの相手をしていました。小さい子に合わせて小さくなっているようでした。相手のことを考えてお手伝いをする姿がたくさん見られました。くじら組の優しい気持ちに触れて「これどうやるの?」「もう一回いい?」と年下の子はお兄さんお姉さんを頼りにゲームを楽しんでいました。なつまつり以降、くじら組のクラスを覗いてみては「〇〇ちゃん」と名前を呼んで挨拶するかわいらしい交流が増えています。楽しい経験を一緒にしたことで、より

憧れの気持ちを抱いたり、思いやりを持つ気持ちが育ってきている幼児クラスです。



身体を動かすって楽しい♪～乳児クラス～

夏本番、毎日水遊びを楽しんでいる子どもたちです。とびきりの笑顔を見せてくれる水遊びの合間には、部屋や廊下、ホールで身体を動かして遊んでいます。0、1、2歳児クラスの遊びの様子を紹介します。

「ボール まてまて」 めだかぐみ（0歳児クラス）

這い這いや伝い歩き、一人歩きを楽しんでいる子どもたちは、部屋の中や廊下、ホールでたくさん動き回っています。2階の廊下は長く、保育士がボールを転がして「まてまて」と言いながら追いかけていくと、子どもたちも這い這いや歩行でボールを追いかけていきます。手にとり「とれたね」と話しかけるとにこっと笑い、再び保育士がボールを転がしながら繰り返し楽しめます。気づくと、廊下の端から端まで移動していました。「すごいね、こんなに遠くまで来たね」と保育士が驚いていると得意げな表情で嬉しそうです。廊下の壁面の装飾を指さしたり、行き交う職員に手を振ったり、探索活動を通して体を動かす楽しさにもつなげていきたいと思います。



「ガタンゴトン ぷっぴー」 あひるぐみ（1歳児クラス）

歩行が安定して、身体を動かすことが益々楽しくなってきた子どもたちです。走ったり、ジャンプしたり、日々の水遊び前の体操や週1回のリズム活動でも身体を動かし遊んでいます。また、箱押しや、コの字型の牛乳パックで作られた『パック車』に乗ることも大好きです。箱の中には重い箱が入っていて、足を踏ん張って、全身の体重を手に込めて箱を前に押し出し走らせています。パック車に乗り込むと「がたんごトン」「ぷっぴー」「ううう～ん」とはたらく乗り物になりきって力強く地面を蹴って進んでいきます。子どもたちのイメージを汲みながら、やりたいことを繰り返し楽しめるよう関わっていきます。

「ワニ、ウサギ、トンボになって」 らっこぐみ（2歳児クラス）

体の動かすことが好きならっこ組は、ピアノの音に合わせて体を動かすリズムも大好きで楽しんでいます。ホールでピアノの音を聞くと「あっ、ワニだー」と音から動きをイメージして床に横になり、手を伸ばして足の指で床を蹴りながら進みます。ホールの端から端まで、ピアノの音が続くまでワニになりきって動く様子は本物のワニのようです。リズムの中でもジャンプをするウサギ、手を広げて走るトンボが大好きならっこ組です。トンボの曲では最後に立ち止まって片足を前に出すポーズが皆のお気に入り、得意げな表情でポーズを決めています。好きなものをイメージし表現する喜びや楽しさを感じながら、体作りにつなげていきたいと思います。

